

12月8日、平成30年度南丹市人権フォーラムを国際交流会館で開催し、声楽家の青野浩美さんを講師に招きました。青野さんは声楽家を目指していた矢先、原因不明の難病を発症されました。人工呼吸器が必要と言われ、やむなく気管切開の手術をし、医師からは歌えないと告げられます。青野さんは「前例がないからとあきらめるのは残念。私が前例を作ろう」と挑戦され、現在の活動につなげておられます。

講演の合間にはコンサートが行われ、青野さんのオリジナル曲や『野ばら』などを熱唱。来場者は美しい歌声に聞き入りながら、夢をあきらめない青野さんの話に耳を傾けていました。



▲歌声を披露する青野さん

「先駆者から学ぶ大切な人権の意識」

(12/8 平成30年度南丹市人権フォーラム)



▲かやぶきの里「雪灯廊」の抽選会場に並ぶ参加者

2月2日、スマートフォンのアプリを使って市内の観光地を周遊しながら謎解きを行い、正解してスタンプを集める「南丹市スタンプラリー謎解きゲーム in なんとん」を開催しました。内藤ジョアン顕彰碑前や日吉ダムインフォギャラリー、かやぶきの里で開催中の「雪灯廊」エリアに3カ所、計5カ所に謎解きスポットが用意され、3つ以上のスタンプを獲得した方が市の特産品が当たる抽選会に参加できる1日限定のイベントです。

今回は府内外から200人の参加があり、謎解きスポットや抽選会場では賑わいを見せていました。



▲内藤ジョアン顕彰碑前で謎を解く参加者 (八木町)

「市内観光スポットで謎解きゲーム」

(2/2 南丹市スタンプラリー謎解きゲーム in なんとん PART 3)

「新年に思いを込め 丁寧に筆を走らす」

(1/12 第27回新春席書大会)



◀真剣な表情で席書に取り組む親子ら

1月12日、第27回新春席書大会が園部公民館で開催され、市内の親子ら約30人が参加しました。新年を迎えて、伝統文化を知ってもらおうと、園部町文化協会が毎年開かれています。

小学1年生～中学生までの各学年に「えび」や「雪げしき」などの課題が出され、子どもたちは真剣な表情で半紙に向けて筆を動かしていました。また、付き添いの保護者も子どもの横で挑戦する姿があり、和やかな雰囲気の中、新年の思いを込めて書きあげていました。